

第5号

会報

めいおんの会

発行 平成24年10月25日

「めいおんの会」(名古屋音楽大学出身教員の会)

事務局 名古屋市緑区大清水四丁目522番地

TEL・FAX (052) 877-1243

発行責任者 会長 百合草 薫

思い出の『音楽のテスト』

参与 水谷 榮子 (名古屋音楽大学音楽学部長)

「今学期末の音楽のテストは全校一斉に行います。皆、それぞれのクラスで静かに待つように！」私が中学2年生の1学期のことでした。

いつもなら歌ったり、リコーダーを吹いたりテストなのに… と不思議に思っていると突然、校内放送のスピーカーから先生の声。

「これから音楽のテストを始めます。オーケストラで使われる楽器の音を順番に流しますから、その音色を聴いてその楽器の名前を答えなさい。」というものでした。

私が育ったのは岐阜県の山奥にある小さな町。中学校は小高い山の中腹にあり、冬は白い雪に埋もれる山々も5月になれば若葉が芽吹き、夏7月ともなれば、緑の葉が繁ります。その頃は木造だった中学校の校舎、窓の外に目をやれば夏の陽ざしに木々の緑。

学校中がシーンと静まりかえった、その静寂の中にフルートが奏でる美しいメロディー、心がはずむファゴットの音色、ヴァイオリンやチェロの優美な響きに続いてティンパニーの登場。トライアングルやハープの音に至るまで、すべての楽器たちが奏でる音楽が澄んだ空気の外側から私達を包み込んでくれているようでした。そこには美しく夢のような音楽の時間があったことを今でも鮮やかに覚えています。

中学校に音楽の先生は一人だけでしたが、先生は音楽が好きな子どもにも、それまで音楽には全く興味がなかった子どもにも同じように、生涯心に残る音の贈り物をくださったのだと感謝し、そして思い出すたびに笑顔になれる「中学の音楽のテスト」なのです。



教員になって

三重県菰野町立八風中学校教諭 高井 美沙 (H24卒)

今年3月、名古屋音楽大学を卒業し、何の経験もないままに教員となりました。最初の頃は、授業の計画を立てることだけで精一杯でした。その中で生徒指導や部活動指導をしたり、初任者研修をはじめとする各種研修を受けたりという日々は、想像よりとても忙しいものでした。日が経つにつれて、学校のこと、仕事のこと、生徒のことなどがわかってくると少しずつ学校での生活のペースがつかめてきました。やっと学校に慣れてきたと嬉しく思います。

1学期は、とにかくできることは自分なりにして全力で過ごしてきましたが、テストや成績

のことでとても不安になっていました。もちろん失敗もしました。その時、周りの先生方はあたたかく支えてくださいました。音楽科は私一人ですが、周りの先生方は教科が違っても学年が違っても助けてくれるのだと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これから2学期、3学期といろいろなことがあると思います。どんなに大変なことがあっても、周りの先生方のサポートがあり、生徒の元気や笑顔があれば乗り越えていけます。まだまだ学ぶことばかりですが、生徒とともに成長し、周りから信頼される教員になれるよう日々努力していきたいです。

総会・研修会・懇親会 8月26日(日) 名古屋音楽大学 めいおんホール・学園食堂

総会では、会則に従い、会長の指名・役員の方の委嘱を行いました。昨年度の事業報告、決算報告並びに本年度の事業計画案、予算案が承認されました。

研修会は、「ピアノはうたう」と題して、名古屋音楽大学教授の金山正一先生と水谷榮子先生を講師に迎えて行いました。演奏は、金山先生と門下生であった森田恭子さんとのデュオによる「ドリー」に始まり、大曲の「ハイドンの主題による変奏曲」をお二人で熱演されました。金山先生からは音楽に対する思いも語っていただき、最後にひとつひとつの音を大切にしながら、思いを込めて「子供の情景」を弾いていただきました。めいおんホールの雰囲気や響きも素晴らしく、クラシック音楽の神髄に触れることができたように思います。



懇親会は、今年度も学園食堂で行い、講師をしていただいた金山正一先生と水谷榮子先生はもちろん、学長の高橋肇先生、前教職指導室の浅田邦穂先生にもご参加いただきました。今年度から愛知県・他府県の方も仲間入りし、思い出話はもちろん、全員が車座になって、現在の様子や感想を報告したり、今抱えている悩みについて意見や情報を交換したりするなど、とても有意義な時間を過ごすことができました。



平成24年度 役員・参与・顧問

～よろしく申し上げます～

会長	百合草 薫 (名古屋・緑生涯学習センター)	会計監査	八巻 景子 (名古屋・中村小)
副会長	川合 恒之 (名古屋・守山西中)	参与	高橋 肇 (名音大・学長)
庶務 長)	藤松 真人 (名古屋・名塚中)	同	水谷 榮子 (名音大・音楽学部)
同 室)	塚崎 崇史 (名古屋・若葉中)	顧問	小泉 孝 (名音大・教職指導室)
会計 室)	北村亜希子 (名古屋・港南中)	同	浅田 邦穂 (名音大・前教職指導室)

合唱伴奏者・管楽器指導者の紹介、芸術鑑賞の希望などは名音大へ

「合唱部に伴奏者がいないので、卒業生・学生（学部生・院生）を紹介してほしい」「吹奏楽部で管楽器の指導ができる卒業生・学生を紹介してほしい」「芸術鑑賞として名音大のアンサンブル、オーケストラ、声楽、邦楽などを呼びたい」などのお尋ねが事務局にあります。ご希望の方は、直接**名音大教職指導室**へお問い合わせください。（☎ 052-411-1664 担当：小泉 孝先生）

「めいおんの会」ホームページ開設

入会案内、会則、会報、教科指導・教育相談・合唱部や吹奏楽部の指導で堪能な先生方の紹介、教材や楽器の紹介、指導事例などをアップする予定です。会員の皆様にお知らせしてありますアドレスから検索してください。皆様からの指導事例等の投稿もお待ちしています。

<編集後記>水谷先生の巻頭言は、すべての子どもたちに音楽に興味をもたせ、心に残る音楽の授業をする大切さを示唆していただいているように思います。心に留めて日頃の指導に当たりたいものです。今年度から愛知県・他府県の方も入会できるようになりました。お知り合いの方をお誘いいただき、事務局までご連絡いただければ幸いです。